

2月18日

福者フラ・アンジェリコ 司祭 記念

フラ・アンジェリコは1400年頃、イタリア・フィレンツェに近いトスカナ地方の町ピッキオに生まれ、20歳の時にフィエゾレのサン・ドメニコ修道会に入会し、ヨハネ（ジョバンニ）の修道名を受け、聖アントニノを修友に、福者ヨハネ・ドミニチを院長にもった。

アンジェリコの芸術が広まったのは、メディチ家のコスモがドミニコ会修道士たちをフィエゾレからフィレンツェのサン・マルコ修道院に招いてからである。時は輝かしい中世の黄昏、西欧文明の新時代のあけぼのであった。このサン・マルコ修道院の装飾、さらに教皇エウジェニオ4世よりバチカンの装飾を依頼された彼の作品には、バチカンに現存する傑作、フレスコ画「聖ステファノと聖ラウレンシオ」他、キリストと聖母の生涯を背景とした35パネルからなる、シリーズがある。

疲れを知らない画家アンジェリコは、常に制作を始める前に神の助けを呼び求め、仕上げた後は再び手を入れることはなかったという。「キリストの業を行うためには、キリストに属するものでなければならない」と、しばしば口にしていた。彼は、無私無欲で作品オ代価を受け取ろうとせず、真の富は、わずかなものでまんぞくするものであると信じていた。

彼の魂は神の曇りのない感覚を備えた純潔な魂であった。十字架の場面を描く時は、目に涙を浮かべて観想家、神秘家であった。彼の魂はその作品に溢れている。司祭職の尊厳以外のいかなる威厳も探し求めなかった。彼の生涯は慎ましくドラマティックなところはなく、禁域内の沈黙と孤独の中での芸術の背後に隠されている

1445年2月18日、ローマのミネルバ修道院で帰天。サンタ・マリア・ソプラ・ミネルバに埋葬されている。

1983年、教皇ヨハネ・パウロ2世により列聖された。

【聖ドミニコ会聖人・福者暦】

1982年、米国ニュージャージー州 サミットドミニコ会ロザリオの聖母修道院発行

1984年、ドミニコ会聖ヨゼフ修道院（瀬戸市東長根町）翻訳

2006年、ドミニコ会岡本哲夫神父（ロザリオ管区）よる改定版から